

## 第4章 調査項目別集計

### 1 学校生活

#### (1) クラスや学校の様子

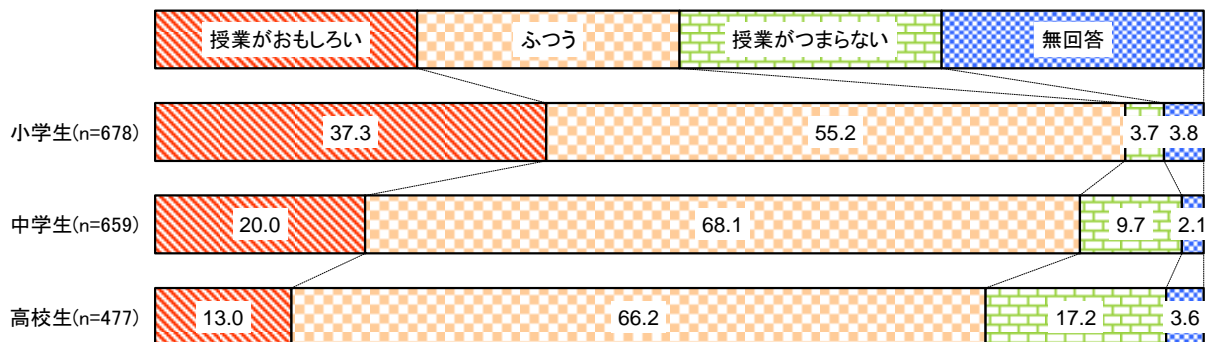
##### ア. 授業のおもしろさ (小学生、中学生、高校生)

次の①～④について、あなたのクラスや学校はAとBのどちらにあてはまりますか。1～3の中から、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。

	A	Aに近い	ふつう	Bに近い	B
①	授業がおもしろい	1	2	3	授業がつまらない
②	クラブや部活が楽しい	1	2	3	クラブや部活がつまらない
③	楽しい学校行事が多い	1	2	3	つまらない学校行事が多い
④	いい友達や先輩にめぐまれている	1	2	3	いい友達や先輩がいない

図 4. 1. 1

(%)

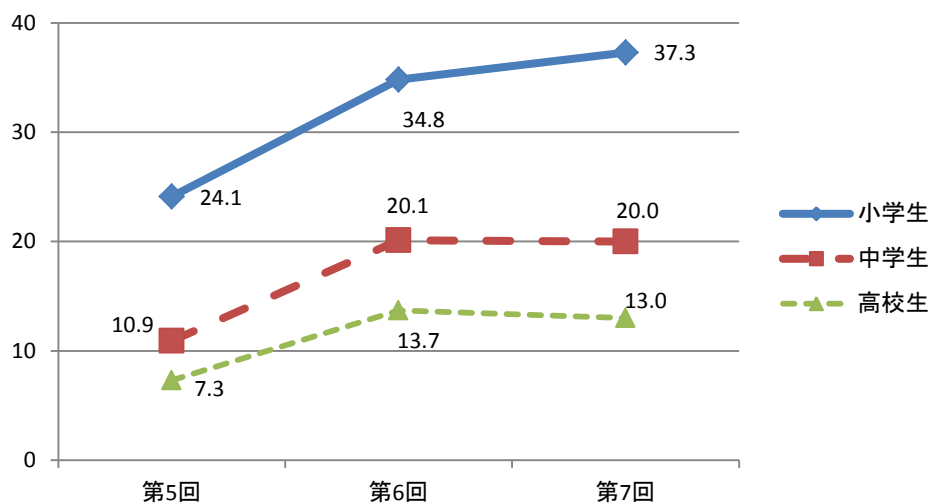


小学生、中学生、高校生に授業のおもしろさについて聞いたところ、どの学年も「ふつう」が最も多い結果となっています。また、学年が上がるにつれて「授業がおもしろい」の割合が減り、「授業がつまらない」の割合が増えています。

#### 過年度調査との比較

図 4. 1. 2 「授業がおもしろい」

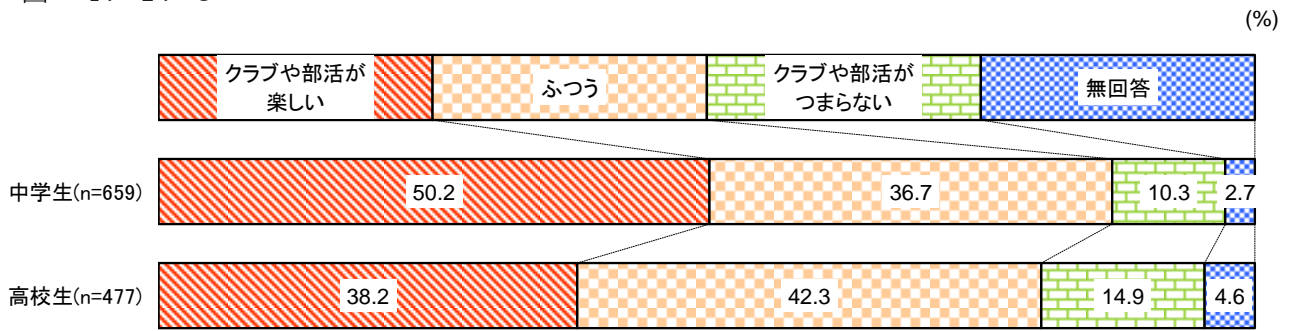
(%)



第5回、第6回調査結果と「授業がおもしろい」の割合を比較してみると、小学生は徐々に増加している一方で、中学生は第6回と第7回はほぼ同率、高校生はやや減少していることがわかりました。

イ. クラブや部活の楽しさ (中学生、高校生)

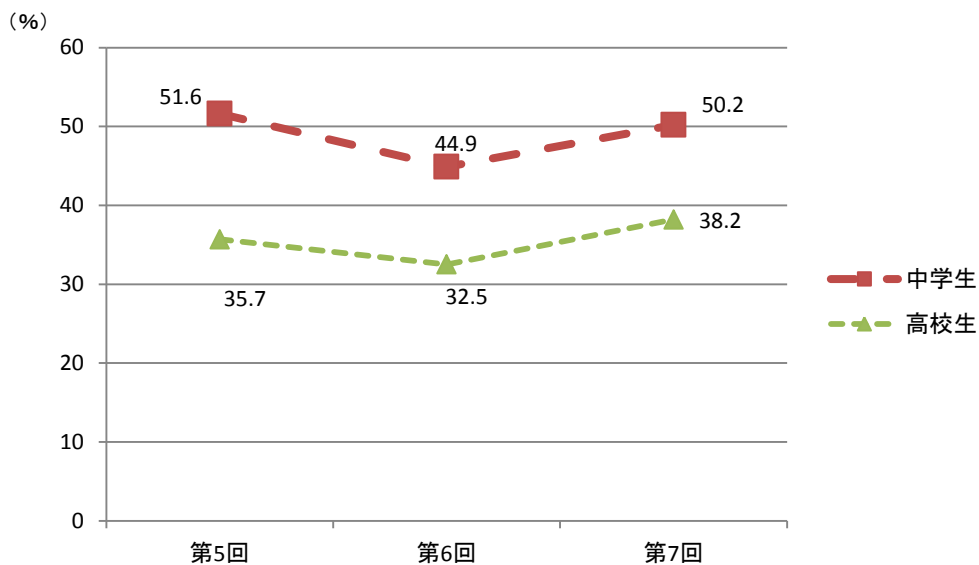
図 4. 1. 3



中学生、高校生にクラブ活動や部活動の楽しさについて聞いたところ、中学生では50.2%、高校生では38.2%が「クラブや部活が楽しい」と回答しています。中学生に比べると、高校生では「ふつう」「クラブや部活がつまらない」の割合が高くなっています。

過年度調査との比較

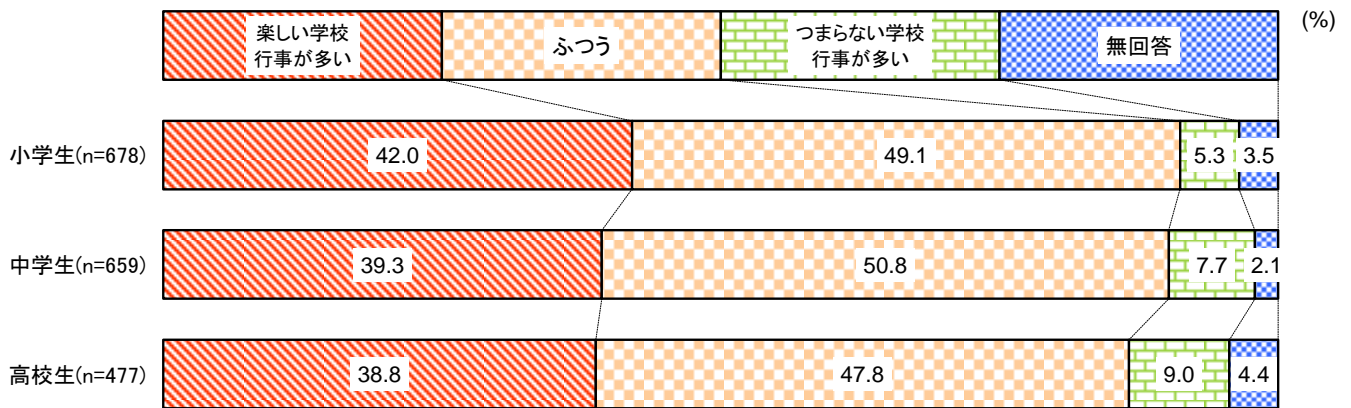
図 4. 1. 4 「クラブや部活が楽しい」



第5回、第6回調査と比較すると、「クラブや部活が楽しい」と回答した割合は、第5回調査から第6回調査にかけては中学生、高校生ともに減少しましたが、第7回調査では再び増加しています。

ウ. 学校行事の楽しさ (小学生、中学生、高校生)

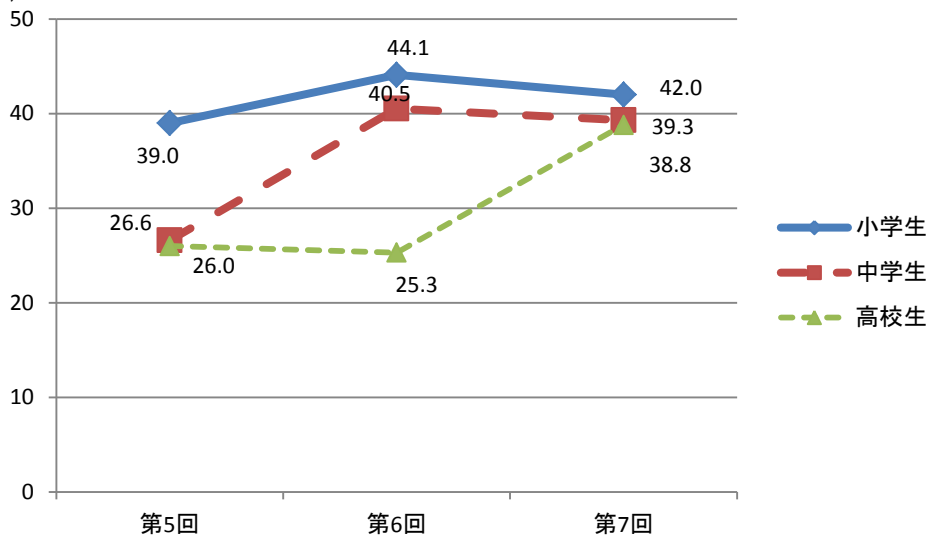
図 4. 1. 5



小学生、中学生、高校生に学校行事の楽しさについて聞いたところ、「楽しい学校行事が多い」と回答した人の割合は、小学生で 42.0%、中学生で 39.3%、高校生で 38.8%と、各年代ともに 4 割程度が回答しています。「ふつう」と回答した人の割合も各年代で同程度であり、5 割程度が回答しています。

過年度調査との比較

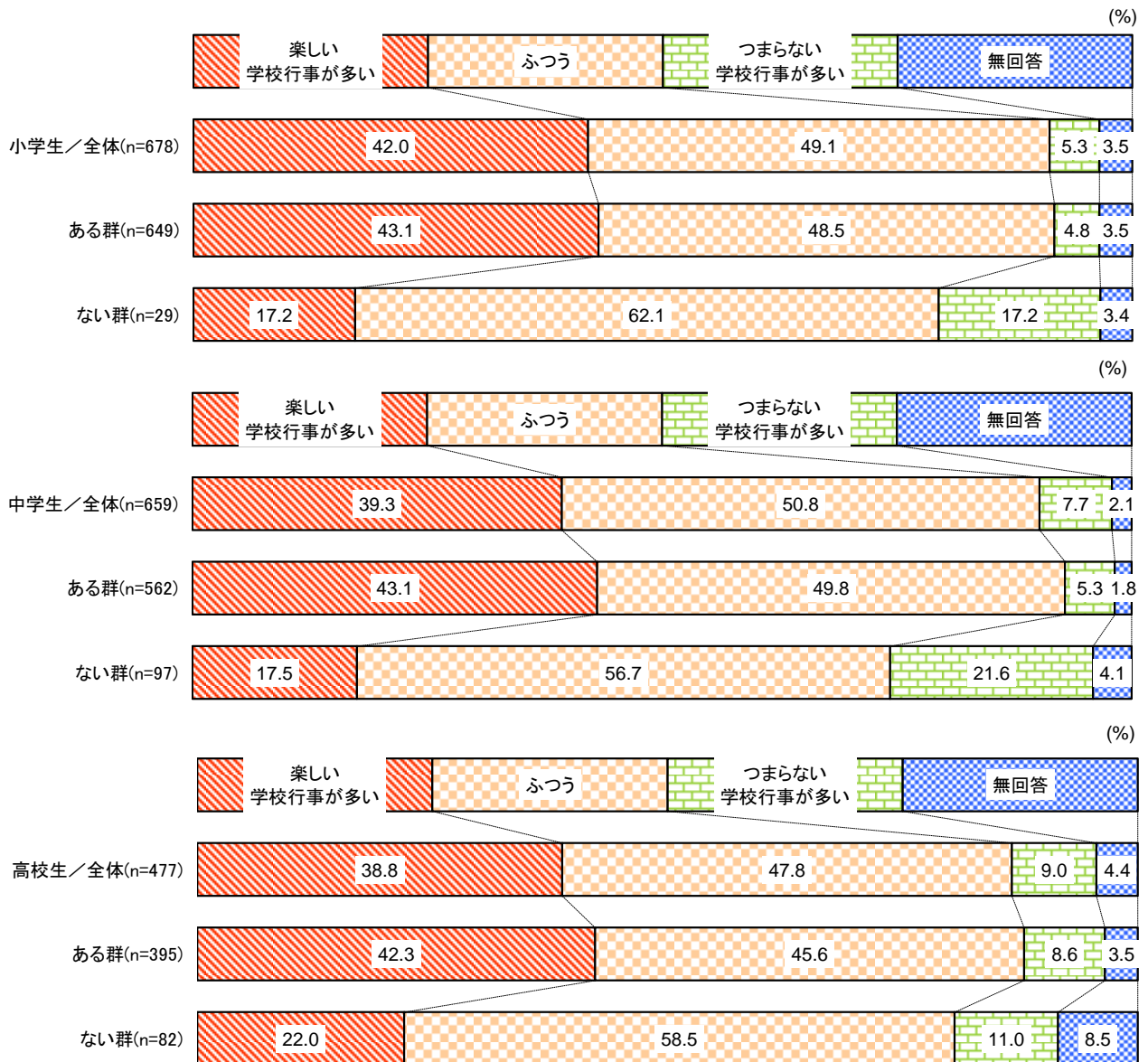
図 4. 1. 6 「楽しい学校行事が多い」 (%)



第5回、第6回調査と比較してみると、第7回調査では「楽しい学校行事が多い」と回答した高校生の割合が、第6回調査の 25.3%から 38.8%へと大きく増加しています。

得意なものや自信のあるものとの関係 (P181 参照)

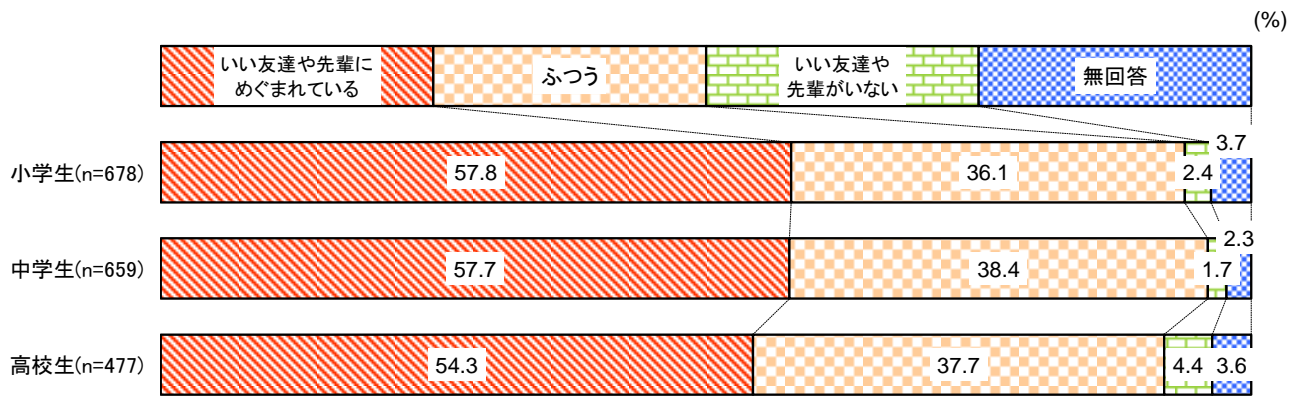
図 4. 1. 7



小学生、中学生、高校生の各年代において、「得意なものや自信のあるもの」が「ある群」は「楽しい学校行事が多い」と回答した人の割合が4割強となっているのに対し、「ない群」は、2割前後と低くなっています。

エ. 友達や先輩（小学生、中学生、高校生）

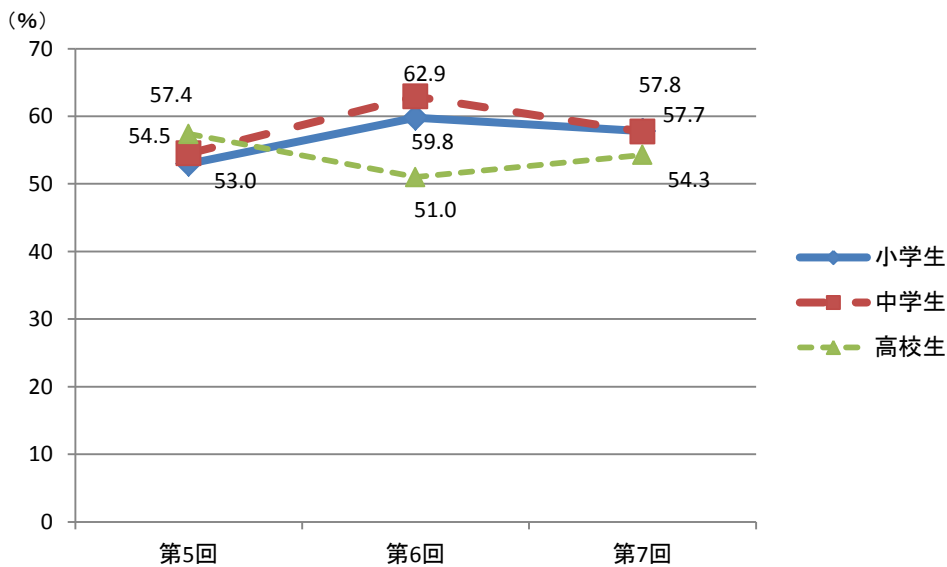
図 4. 1. 8



小学生、中学生、高校生に、「いい友達や先輩にめぐまれているか」を聞いたところ、小学生では57.8%、中学生では57.7%、高校生では54.3%と、各年代とも55%前後の人が「いい友達や先輩にめぐまれている」と回答しています。「ふつう」と回答した人の割合も各年代で同程度となっており、4割弱の人が回答しています。

過年度調査との比較

図 4. 1. 9 「いい友達や先輩にめぐまれている」



第5回、第6回調査と比較してみると、「いい友達や先輩にめぐまれている」と回答した人の割合は、第7回調査では高校生で3.3ポイント増加し、小学生、中学生では5ポイント程度減少していますが、第5回調査からの推移をみると概ね同水準で推移しています。

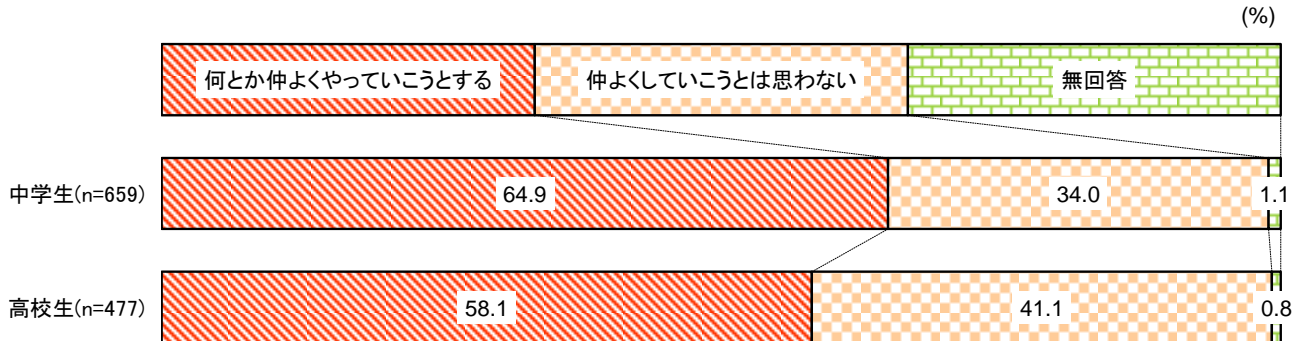


イ. 気の合わない人の隣になった時（中学生、高校生）

学級の座席が気の合わない人のとなりになりました。その時、あなたならどうしますか。次の中からどちらか1つを選んでください。

- 1 何とか仲よくやっいていこうとする      2 仲よくしていこうとは思わない

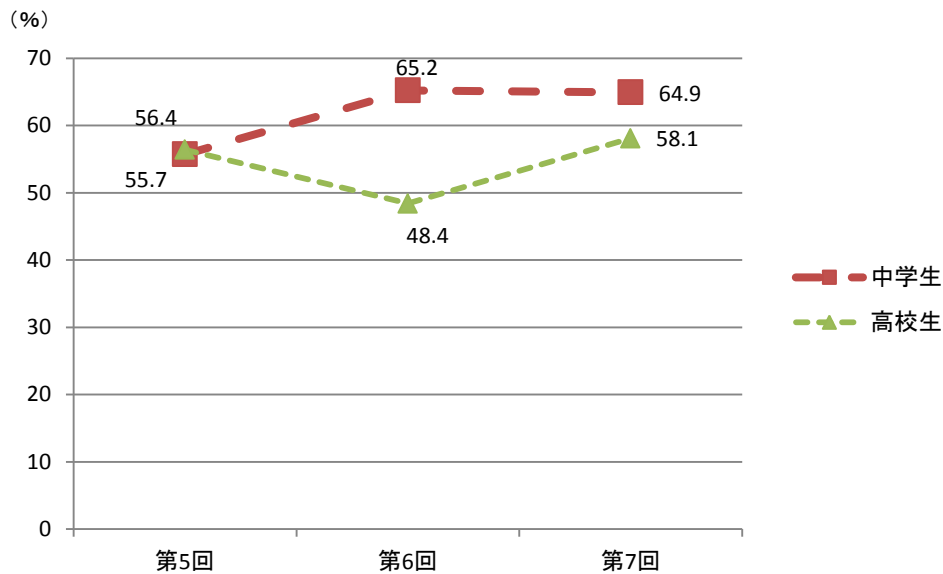
図 4. 1. 1 2



中学生、高校生に、学級の座席が気の合わない人の隣になった場合のことを聞いたところ、中学生では64.9%、高校生では58.1%と、それぞれ半分以上が「何とか仲よくやっいていこうとする」と回答しており、「仲よくしようとは思わない」を上回っています。

過年度調査との比較

図 4. 1. 1 3 「何とか仲よくやっいていこうとする」



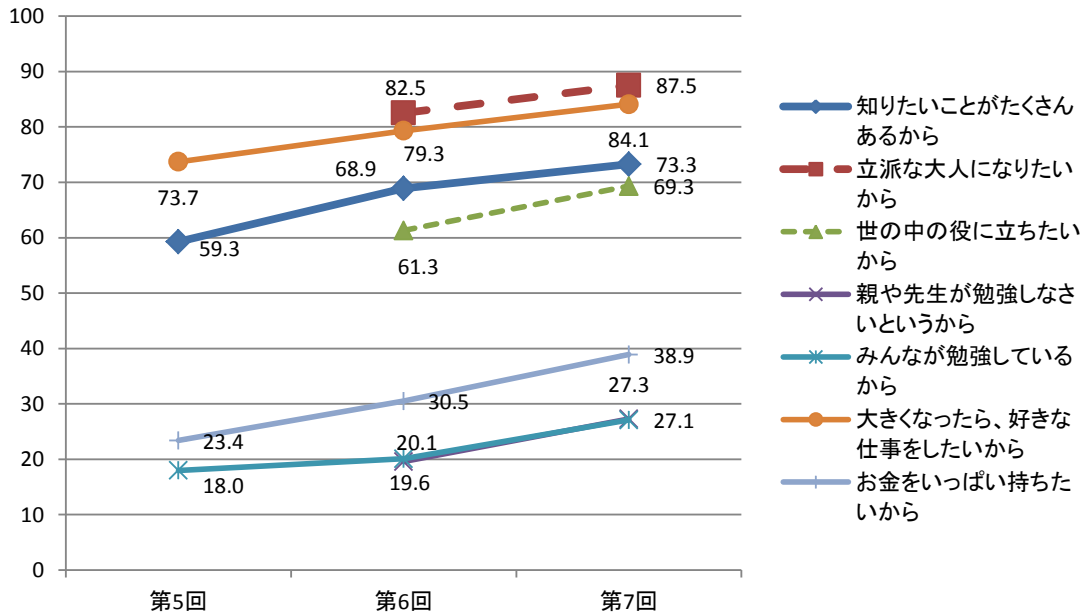
第5回、第6回調査と比較してみると、「何とか仲よくやっいていこうとする」と回答した人の割合は、中学生では第6回調査から横ばいですが、高校生では第6回調査の48.4%から9.7ポイント増加しています。





過年度調査との比較

図 4. 1. 15 (%)



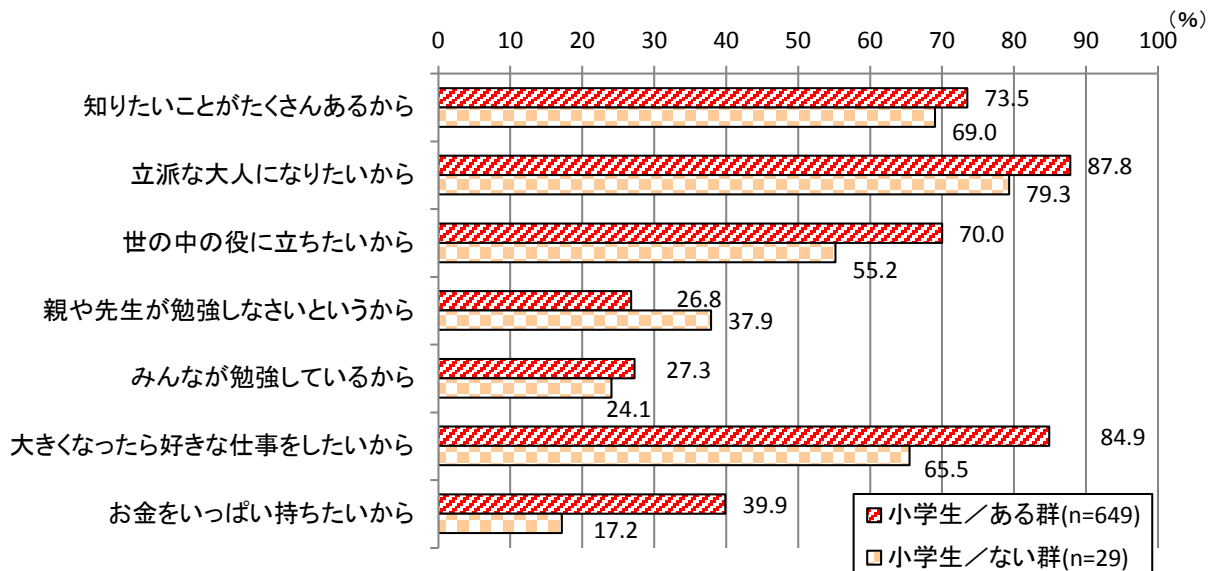
※「立派な大人になりたいから」「世の中の役に立ちたいから」「親や先生が勉強しなさいというから」は第5回調査の選択肢になし

「大きくなったら、好きな仕事をしたいから」は、第5回調査では「大きくなったら、よい仕事をしたい」

第5回、第6回調査との比較では、各項目とも増加傾向にあります。特に「お金をいっぱい持ちたいから」は、第5回調査の23.4%、第6回調査の30.5%から、今回調査の38.9%へと大きく増加しています。

得意なものや自信のあるものとの関係

図 4. 1. 16 小学生の回答「はい」



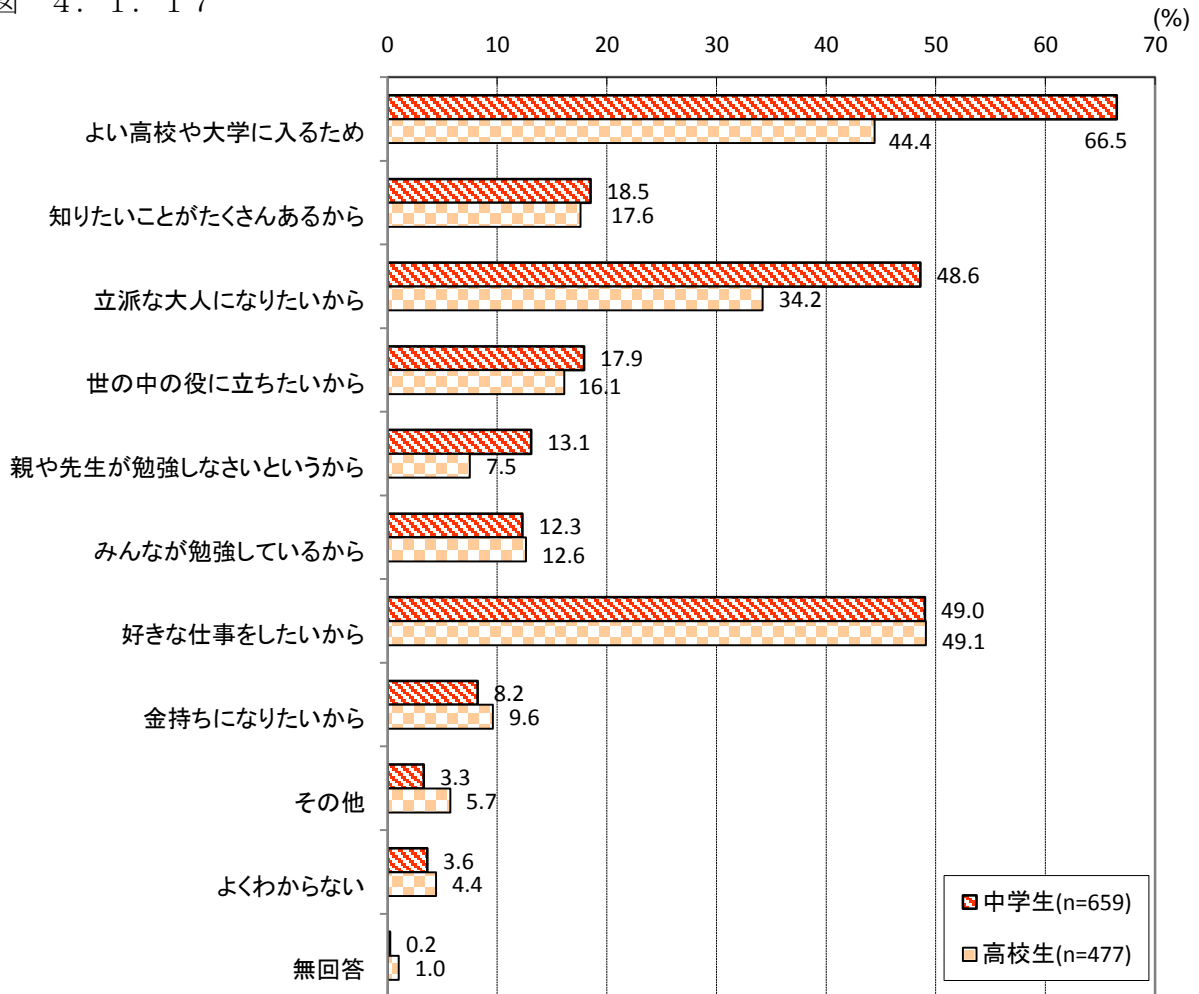
小学生では、「大きくなったら好きな仕事をしたいから」において、「得意なものや自信のあるもの」が「ある群」は「はい」が84.9%に対し、「ない群」は65.5%と差がみられます。また、「親や先生が勉強しなさいというから」は、「ある群」は「はい」が26.8%に対し、「ない群」は「はい」が37.9%と、各項目の中で唯一、「ない群」の「はい」の割合が「ある群」人の「はい」の割合を上回っています。

イ. 勉強をする理由（中学生、高校生）

あなたは、何のために学校にきて勉強しているのだと思いますか。次の中から3つ以内で番号に○をつけてください。

1 よい高校や大学に入るため	2 知りたいことがたくさんあるから
3 立派な大人になりたいから	4 世の中の役に立ちたいから
5 親や先生が勉強しなさいというから	6 みんなが勉強しているから
7 好きな仕事をしたいから	8 金持ちになりたいから
9 その他（	）
10 よくわからない	

図 4. 1. 17



中学生、高校生に、学校で勉強をする理由について聞いたところ、中学生では「よい高校や大学に入るため」が66.5%で最も多く、次いで「好きな仕事をしたいから」が49.0%、「立派な大人になりたいから」が48.6%と続いています。一方、高校生では、「好きな仕事をしたいから」が49.1%で最も多く、「よい高校や大学に入るため」は44.4%にとどまっています。

過年度調査との比較

図 4. 1. 18 「よい高校や大学に入るため」

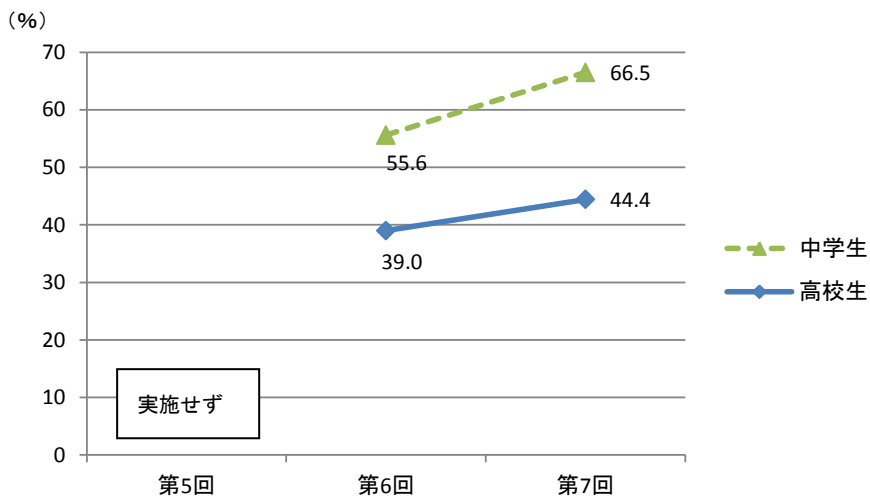


図 4. 1. 19 「立派な大人になりたいから」

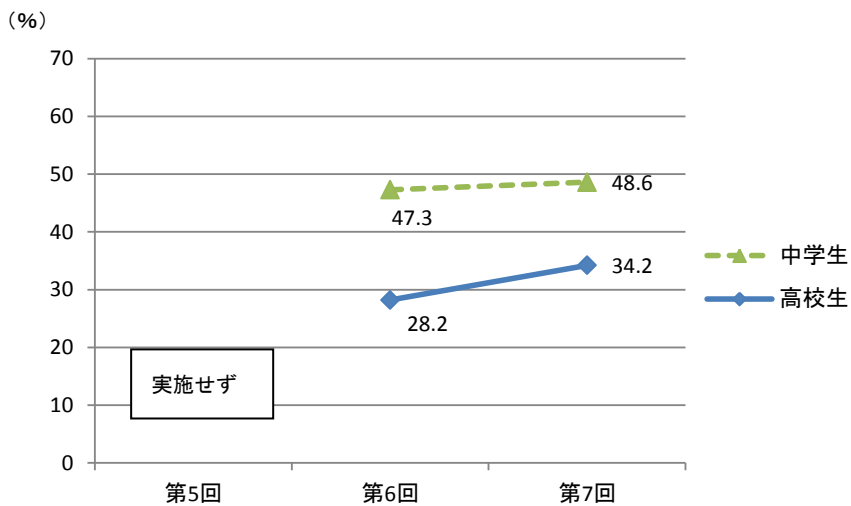
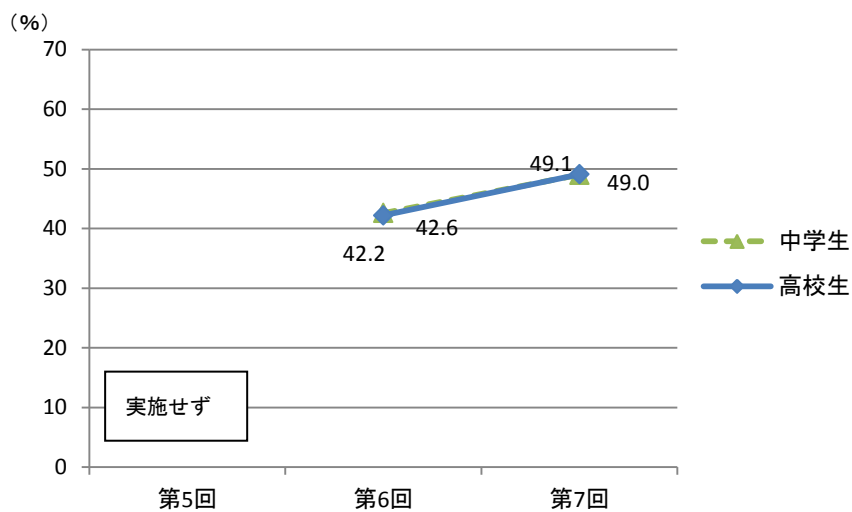


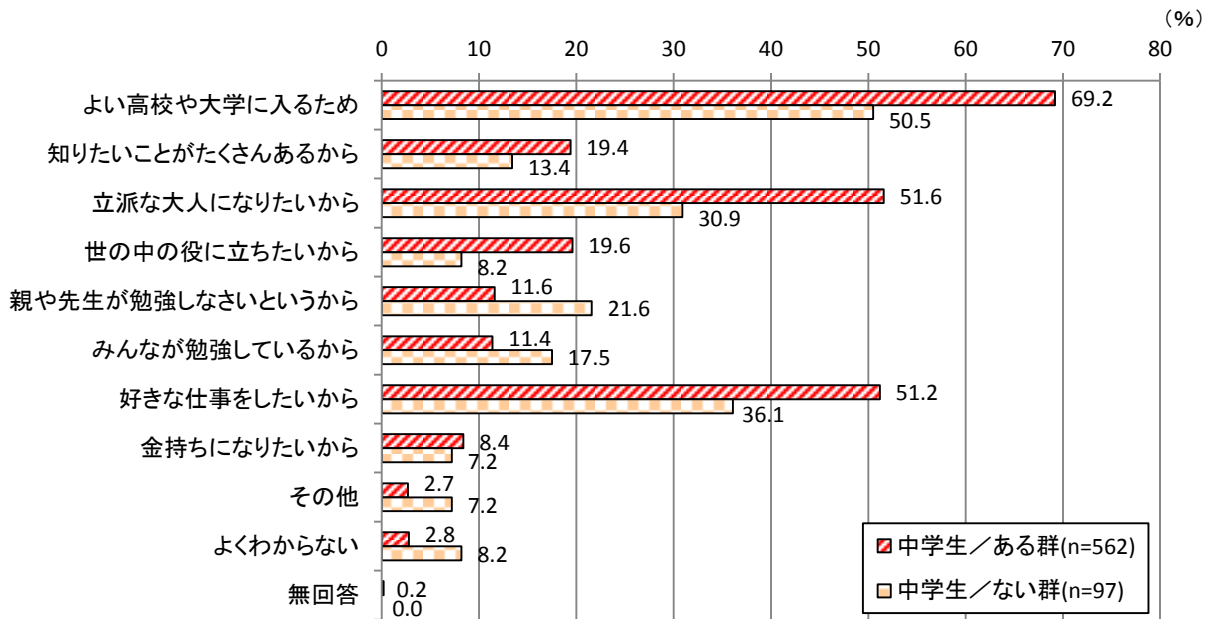
図 4. 1. 20 「好きな仕事をしたいから」



第6回調査と比較すると、上位3項目では「よい高校や大学に入るため」が中学生、高校生の両方で増加しており、特に中学生では、第6回調査の55.6%から66.5%と約10ポイント増加しています。また、「好きな仕事をしたいから」も中学生、高校生の両方で約6ポイント増加しています。

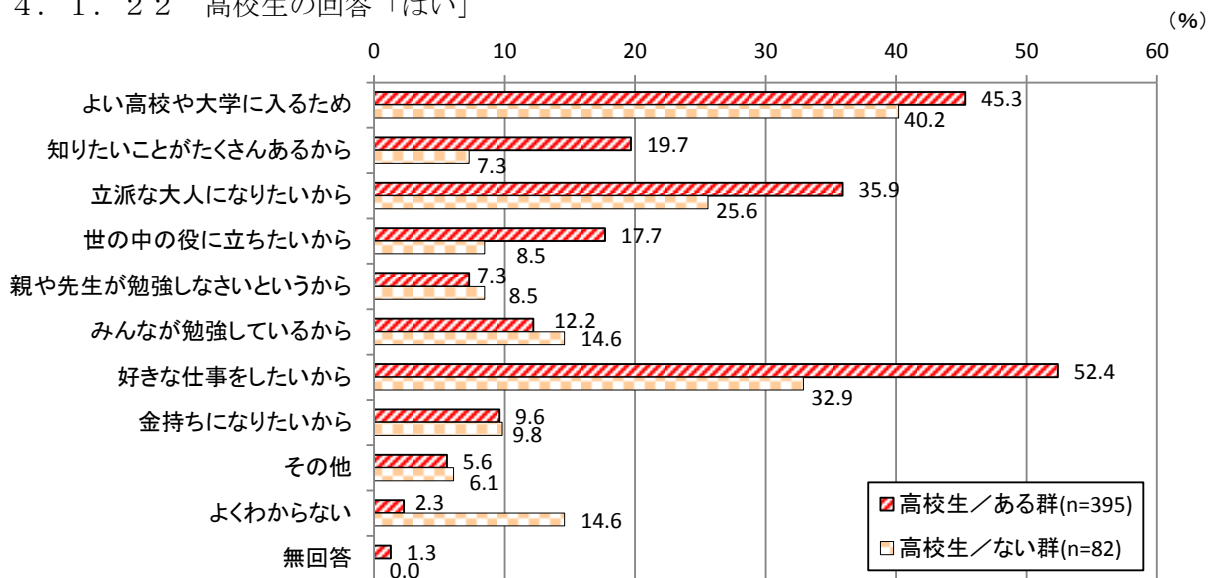
得意なものや自信のあるものとの関係

図 4. 1. 2 1 中学生の回答「はい」



中学生では、「よい高校や大学に入るため」、「立派な大人になりたいから」において、「ある群」では、「ない群」よりも「はい」が約 20 ポイント高くなっています。また、「好きな仕事をしたいから」も、「ある群」では、「ない群」よりも「はい」が約 15 ポイント高くなっています。小学生同様に、「親や先生が勉強しなさいというから」は、「ない群」が「ある群」を上回っています。

図 4. 1. 2 2 高校生の回答「はい」



高校生では、「好きな仕事をしたいから」において、「ある群」と「ない群」とでは約 20 ポイントの開きがみられています。「知りたいことがたくさんあるから」、「立派な大人になりたいから」、「世の中の役に立ちたいから」も、「ある群」が「ない群」を 10 ポイント程、上回っています。

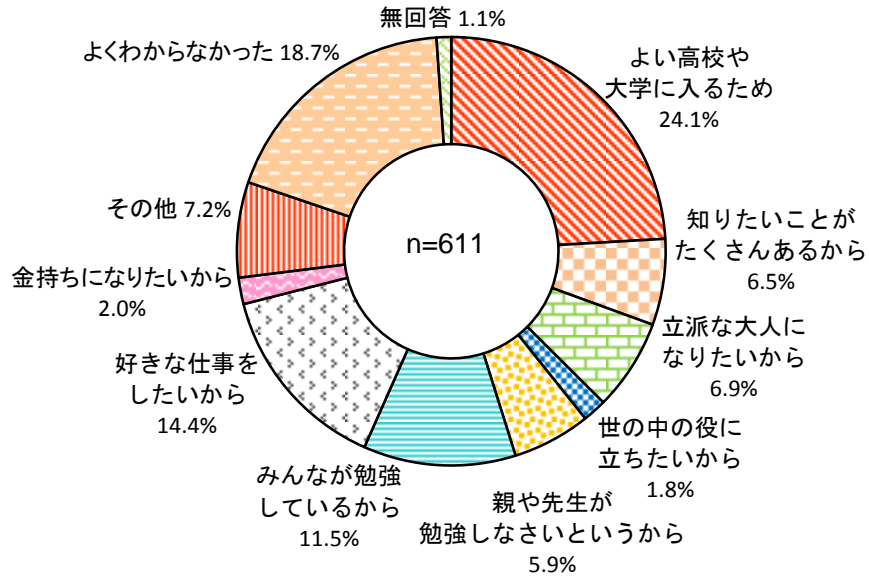
また、「ない群」では「よくわからない」が 14.6%と、「ある群」よりも 12.3 ポイント高くなっています。

ウ. 中学生や高校生の時に勉強をした理由（青年）

中学生や高校生の時、何のために勉強していましたか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 よい高校や大学に入るため	2 知りたいことがたくさんあるから
3 立派な大人になりたいから	4 世の中の役に立ちたいから
5 親や先生が勉強しなさいというから	6 みんなが勉強しているから
7 好きな仕事をしたいから	8 金持ちになりたいから
9 その他（	）
10 よくわからなかった	

図 4. 1. 2 3



青年に、中学生や高校生の時に勉強をした理由を聞いたところ、「よい高校や大学に入るため」が24.1%で最も多く、次いで「よくわからなかった」(18.7%)、「好きな仕事をしたいから」(14.4%)、「みんなが勉強しているから」(11.5%)と続いています。



## 過年度調査との比較

図 4. 1. 25 「スポーツ的な部活動」

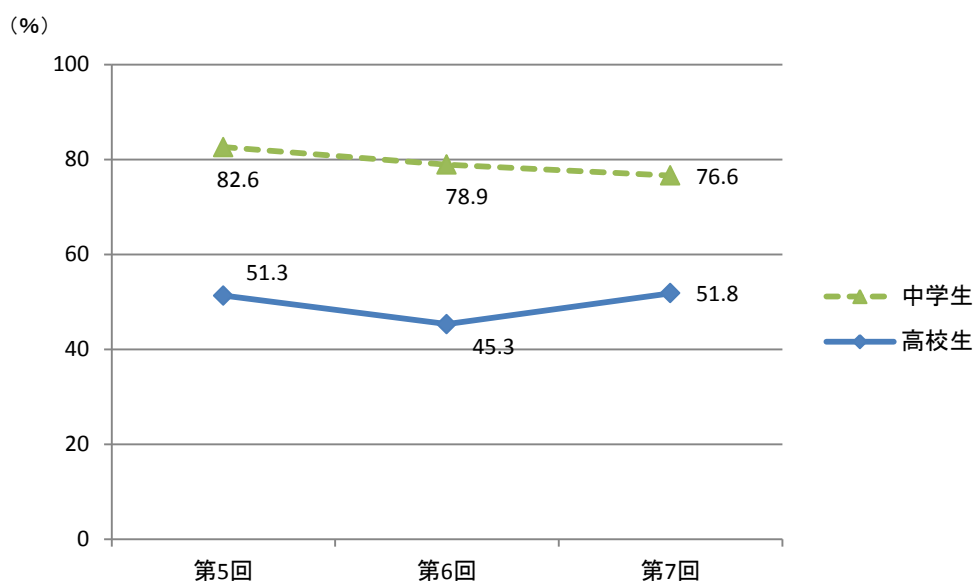
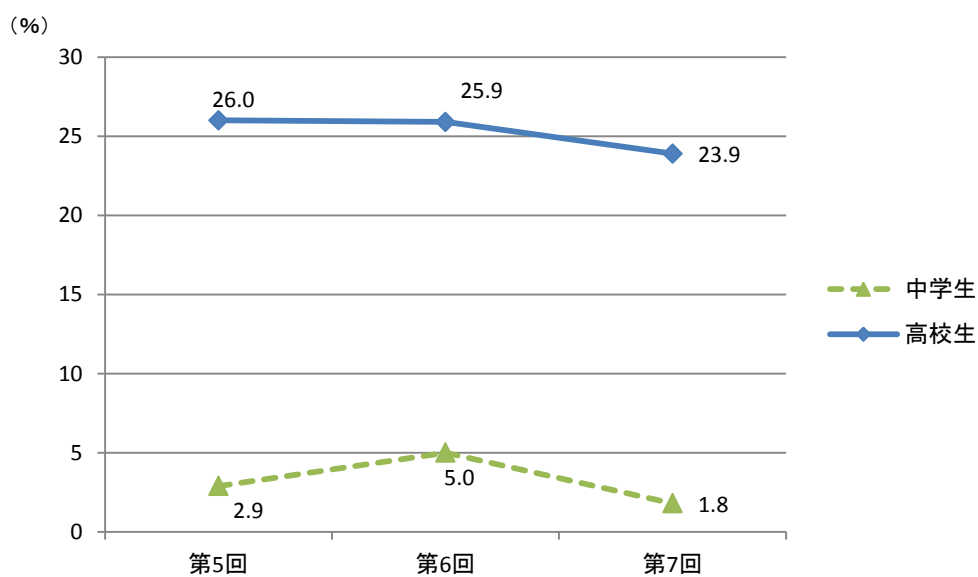


図 4. 1. 26 「参加していない」



第5回、第6回調査と比較すると、「スポーツ的な部活動」が中学生では第5回から微減が続いていますが、高校生では増加に転じ、第5回と同等の水準に戻っています。

ただし、「スポーツ的な部活動」は中学生で減少傾向にあります。また、「参加していない」の回答割合が第6回調査よりも低くなっていることや、今回調査より選択肢に加わった「部活動には参加していないが、外部のクラブ等に参加している」と回答した生徒（中学生：4.2%）も考慮すると、中学生も高校生と同様に、スポーツ的な課外活動に取り組む生徒の割合は、大きく減少していないと考えられます。

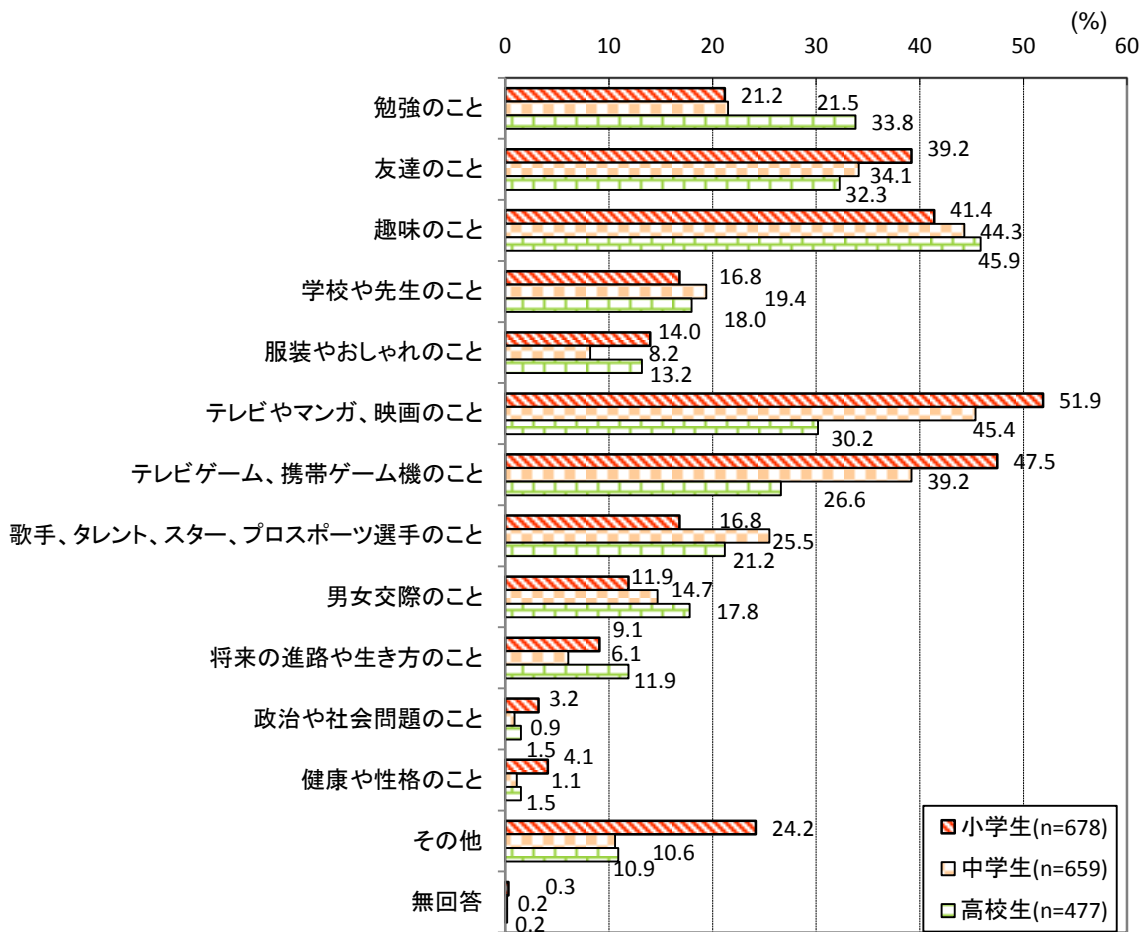
(5) 友人関係

ア. 友達との会話の内容 (小学生、中学生、高校生)

あなたは、友達と、いつもどんなことを話していますか。次の中から3つ以内で番号に○をつけてください。

1 勉強のこと	2 友達のこと	3 趣味のこと
4 学校や先生のこと	5 服装やおしゃれのこと	6 テレビやマンガ、映画のこと
7 テレビゲーム (プレステ、Wii など)、携帯ゲーム機 (DS、PSP など) のこと		
8 歌手、タレント、スター、プロスポーツ選手のこと		
9 男女交際のこと	10 将来の進路や生き方のこと	11 政治や社会問題のこと
12 健康や性格のこと	13 その他	

図 4. 1. 27



小学生、中学生、高校生に、友達との会話の内容について聞いたところ、小学生と中学生では「テレビやマンガ、映画のこと」が小学生：51.9%、中学生：45.4%と最も多く、次いで小学生では「テレビゲーム、携帯ゲーム機のこと」(47.5%)、「趣味のこと」(41.4%)、中学生では「趣味のこと」(44.3%)、「テレビゲーム、携帯ゲーム機のこと」(39.2%)と続いています。

高校生では、「趣味のこと」が45.9%で最も多く、次いで「勉強のこと」(33.8%)、「友達のこと」(32.3%)、「テレビやマンガ、映画のこと」(30.2%)と続いています。



過年度調査との比較

図 4. 1. 28 「勉強のこと」

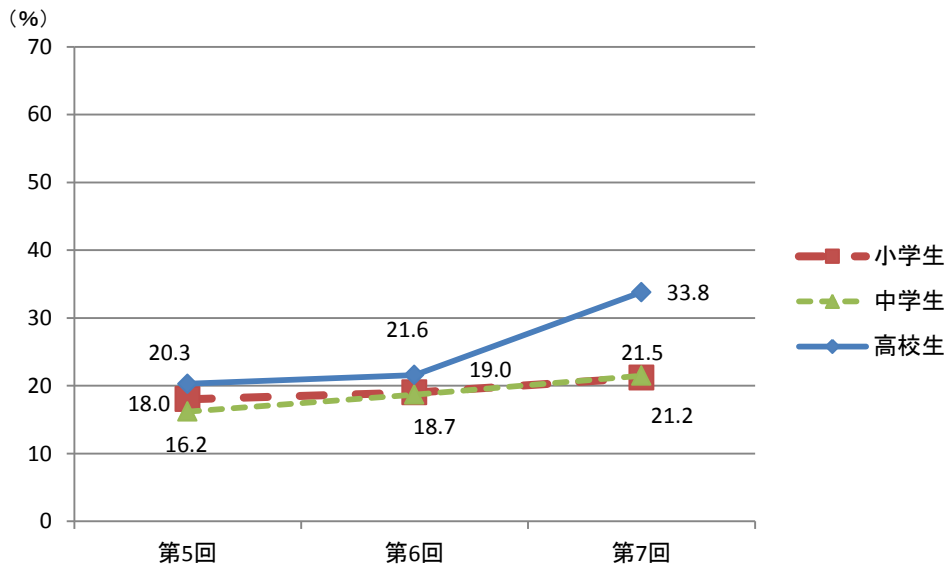


図 4. 1. 29 「テレビやマンガ、映画のこと」

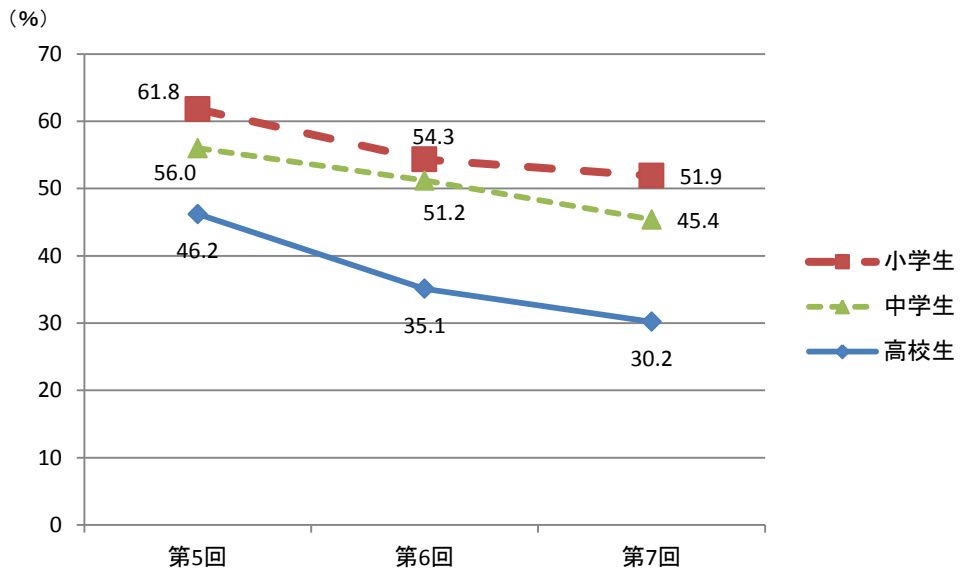


図 4. 1. 3 0 「テレビゲーム、携帯ゲーム機のこと」

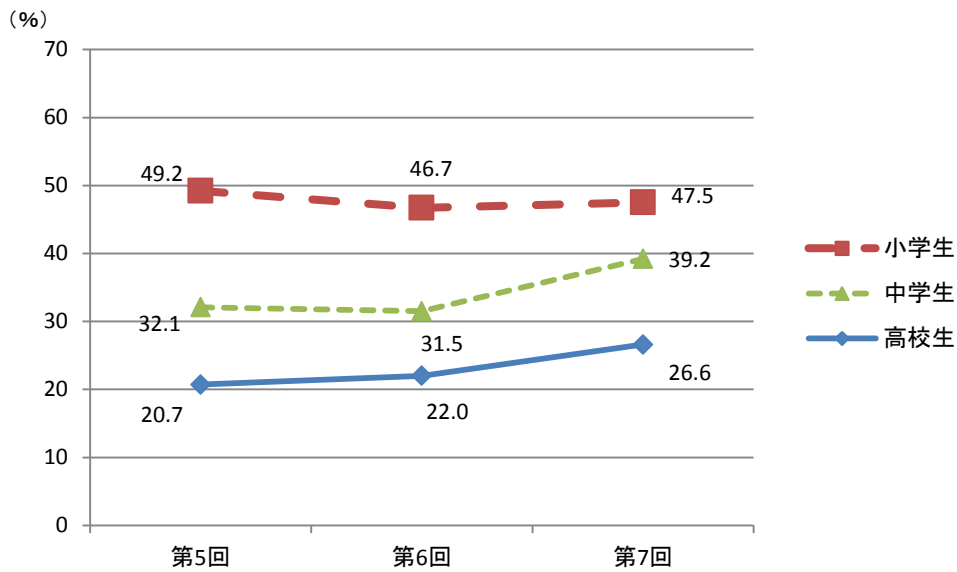
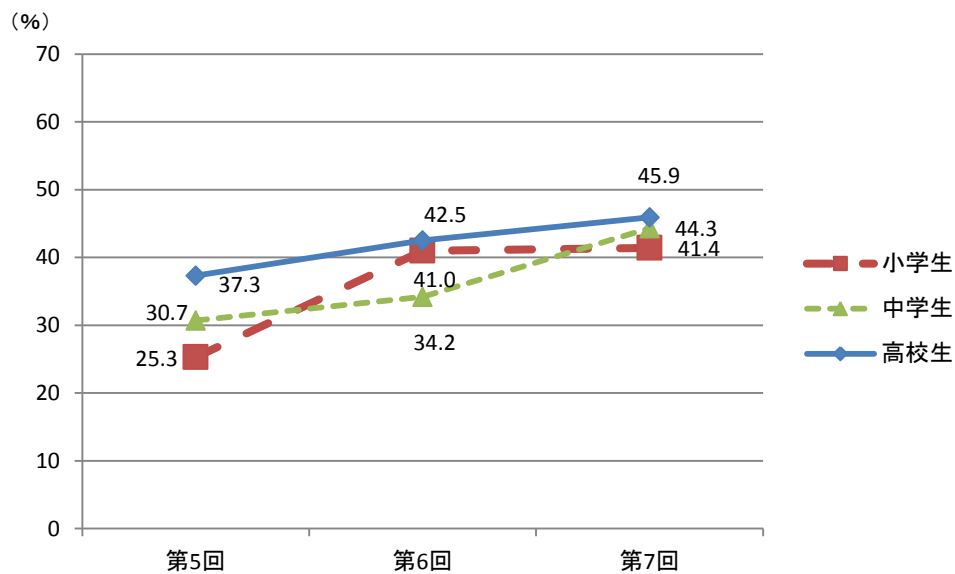


図 4. 1. 3 1 「趣味のこと」



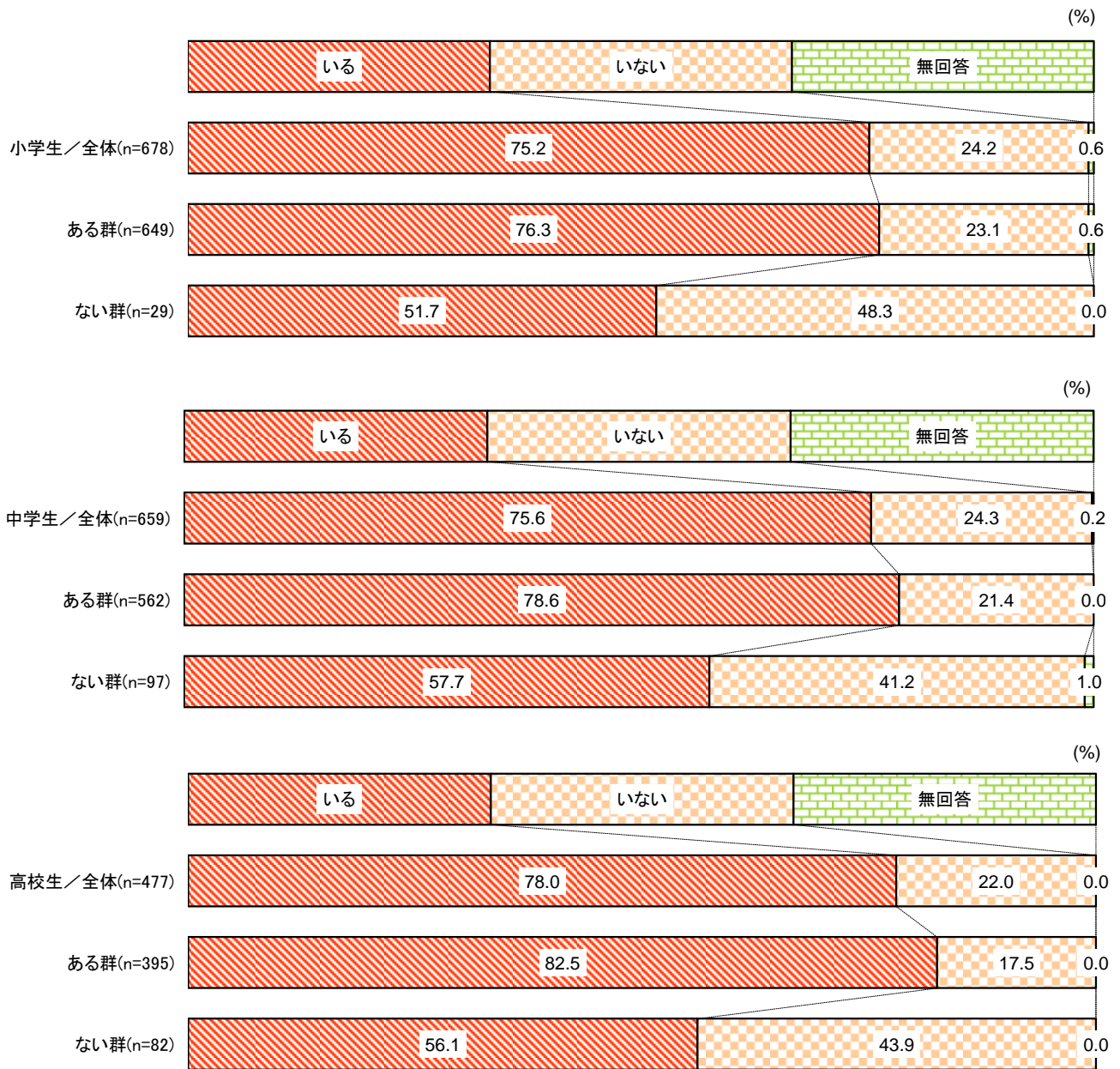
第5回、第6回調査と比較してみると、「テレビやマンガ、映画のこと」は第5回調査から一貫して、各年代で減少傾向にあります。第5回調査から第6回調査にかけて横ばいであった、「テレビゲーム、携帯ゲーム機のこと」が今回調査では増加傾向にあります。

また、各年代で増加が目立つ項目として、小学生、中学生、高校生の「趣味のこと」、高校生の「勉強のこと」が挙げられます。特に、「勉強のこと」は中学生では横ばいですが、高校生では第6回調査の21.6%から33.8%へと大きく増加しています。



得意なものや自信のあるものとの関係

図 4. 1. 3 4



「得意なものや自信のあるもの」が「ある群」、「ない群」の別にみると、小学生、中学生、高校生の各年代において、「ある群」は、何でも打ち明けられる友達が「いる」と回答した人の割合が8割程度となっているのに対し、「ない群」は、「いる」と回答した人の割合は5割台と低くなっています。

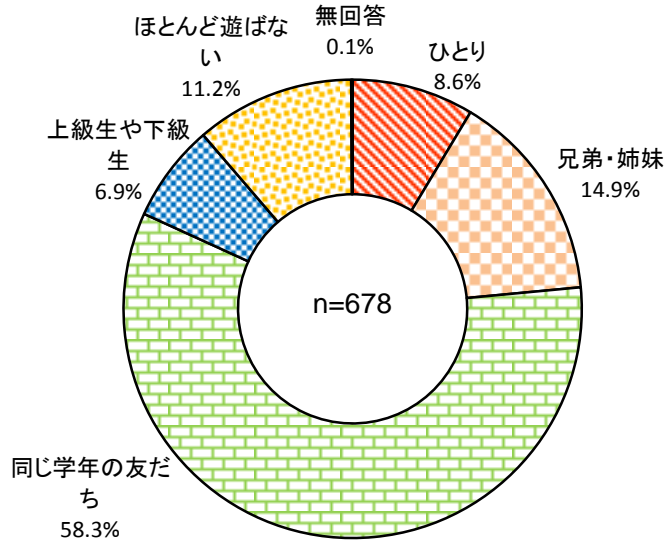


オ. 放課後一番よく遊ぶ人（小学生）

あなたは放課後、だれと一番よく遊んでいますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 ひとり	2 兄弟・姉妹	3 同じ学年の友だち
4 上級生や下級生	5 ほとんど遊ばない	

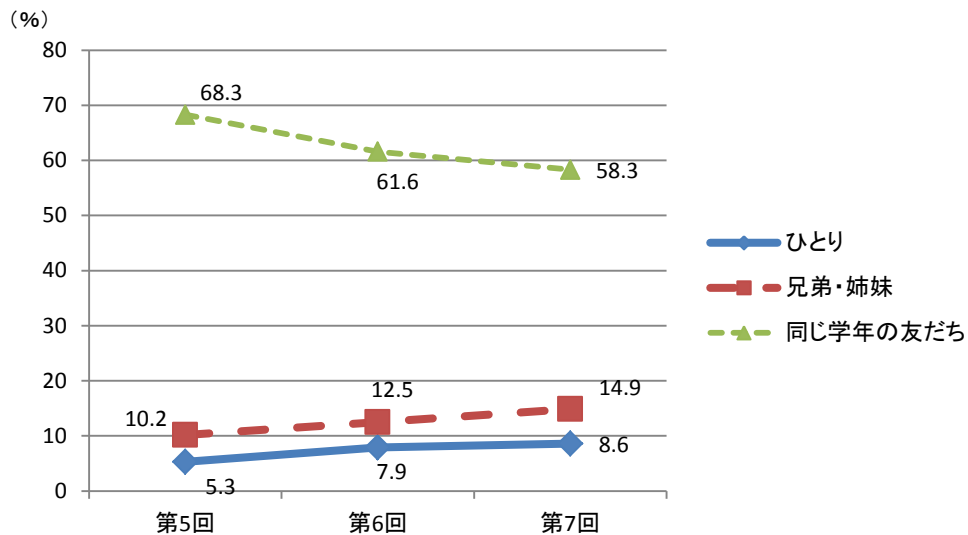
図 4. 1. 37



小学生に、放課後に一番よく遊ぶ人を聞いたところ、「同じ学年の友だち」が 58.3%で最も多く、次いで「兄弟・姉妹」(14.9%)、「ほとんど遊ばない」(11.2%)と続いています。

過年度調査との比較

図 4. 1. 38

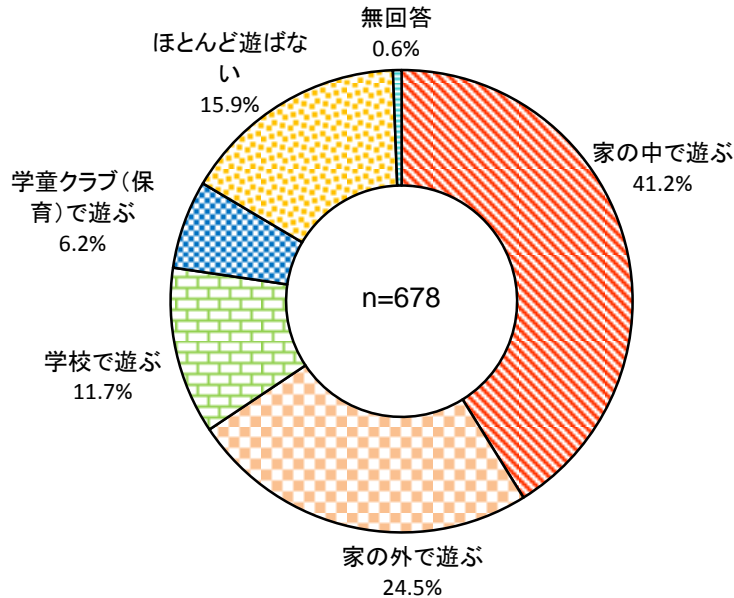


第5回、第6回調査と比較してみると、「同じ学年の友だち」の回答割合は、第5回調査の 68.3%から減少傾向にあり、「兄弟・姉妹」、「ひとり」の回答割合が徐々に増加しています。

カ. 放課後遊ぶ場所（小学生）

あなたは、放課後、どこで遊ぶことが多いですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。  
 1 家の中で遊ぶ                      2 家の外で遊ぶ                      3 学校で遊ぶ  
 4 学童クラブ（保育）で遊ぶ      5 ほとんど遊ばない

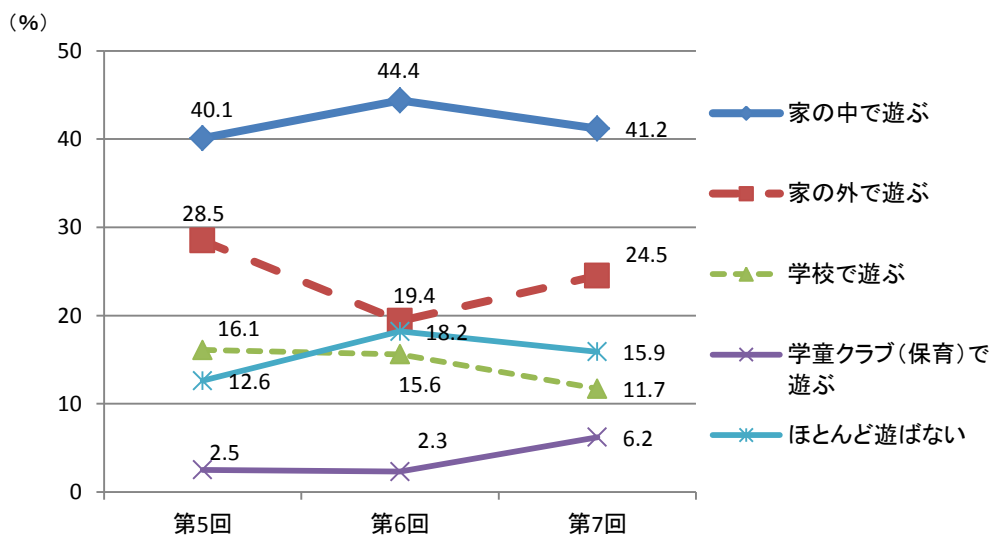
図 4. 1. 39



小学生に、放課後遊ぶことが多い場所を聞いたところ、「家の中で遊ぶ」が 41.2%で最も多く、次いで「家の外で遊ぶ」が 24.5%、「ほとんど遊ばない」が 15.9%と続いています。

過年度調査との比較

図 4. 1. 40



第5回、第6回調査と比較してみると、「家の中で遊ぶ」は第6回調査の 44.4%から 3.2ポイント、「学校で遊ぶ」は 3.9ポイント減少しています。第6回調査から増加している項目としては、「家の外で遊ぶ」が 5.1ポイント、「学童クラブ（保育）で遊ぶ」が 3.9ポイント増加しています。





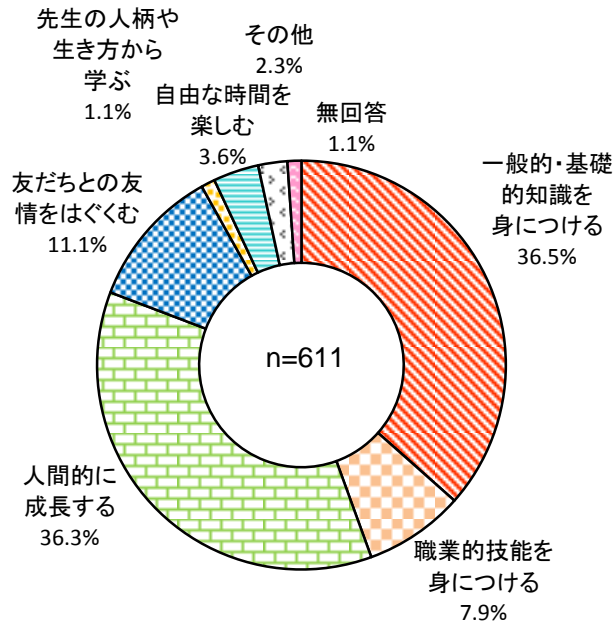


(8) 学校生活の意義 (青年)

学校生活の意義について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 一般的・基礎的知識を身につける	2 職業的スキルを身につける
3 人間的に成長する	4 友だちとの友情をはぐくむ
5 先生の人柄や生き方から学ぶ	6 自由な時間を楽しむ
7 その他 (	)

図 4. 1. 4 4



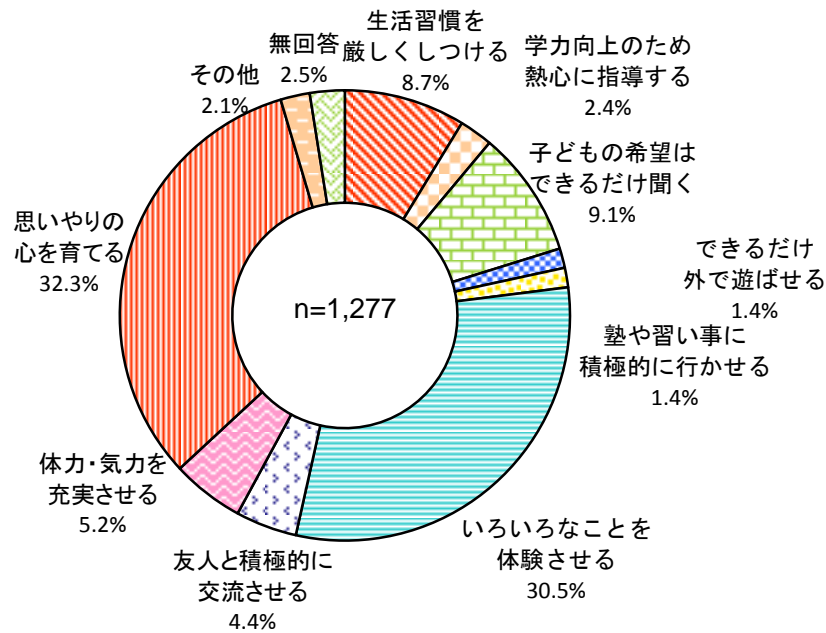
青年に、学校生活の意義について聞いたところ、「一般的・基礎的知識を身につける」が 36.5%と最も多く、次いで「人間的に成長する」が 36.3%、「友だちとの友情をはぐくむ」が 11.1%、「職業的スキルを身につける」が 7.9%と続いています。

(9) 教育方針（保護者）

次の中からあなたの教育方針を1つ選んで番号に○をつけてください。

1 生活習慣を厳しくしつける	2 学力向上のため熱心に指導する
3 子どもの希望はできるだけ聞く	4 できるだけ外で遊ばせる
5 塾や習い事に積極的に行かせる	6 いろいろなことを体験させる
7 友人と積極的に交流させる	8 体力・気力を充実させる
9 思いやりの心を育てる	
10 その他 ( )	

図 4. 1. 4 5



保護者に、教育方針について聞いたところ、「思いやりの心を育てる」が32.3%、「いろいろなことを体験させる」が30.5%と多く、この2つで6割以上を占めています。次いで多いのは、「子どもの希望はできるだけ聞く」(9.1%)、「生活習慣を厳しくしつける」(8.7%)、「体力・気力を充実させる」(5.2%)、「友人と積極的に交流させる」(4.4%) となっています。